

## 射水市総合計画顧問会議等におけるご意見

## 〔市の将来像に関するご意見〕

市の将来像において「いみず」を他の市町村名に置き換えても通じてしまう。具体性に乏しいのではないかと。射水市をどういうまちにしていくのか、どういった方向に持っていくのか、具体的なイメージがつかめない。

## 〔人口増対策、目標人口に関するご意見〕

人口減少の原因は色々あると思うが、射水市は地理的な優位性を持っており、本来もう少し人口が増えてもおかしくないと思う。周辺市町村の状況なども調査・分析し、その上で、どういう人口増加策が射水市にとって良いのか考えるべきである。

射水市には都市計画の縛りがあり、市街化区域内では住宅地として活用できるまとまった土地が少ないのではないかと。他市町村の縛りが少ないところでは宅地開発がしやすく、人口が拡散している傾向が見られる。本来なら、富山や高岡に通勤するのであれば射水市が一番であると思うが、土地や住宅が高いなどの理由で、砺波市の方などに住宅を求める傾向があると思われる。

射水市はこれまで手厚い子育て支援策を打って人口減少に歯止めをかけてきたが、税金の投入も大きい。周辺市町村も追随しており、差がなくなっている。

「結婚して子どもをつくる」ということが切迫した課題と考える。子どもが生まれる前の施策が足りない。結婚政策などは市がやるべきことではないが、そこまで手をかけないと改善しない状況かと思う。

目標人口をもっと高く設定して人口増対策に取り組むべきである。

人口減少を踏まえ目標人口を90,000人としているが、人口の減少はもっと厳しいと思う。全国的な傾向であり、人口は激減していく可能性がある。よほどの策を立てなければならない。

## 〔その他まちづくり全般に関するご意見〕

これからの10年は、射水市が1つの都市として形を整え充実していく期間であり、例えば公共施設の統廃合について、都市としてのランドデザインのような視点がも

う少し必要かと思う。

既存市街地を結ぶコミュニティバスを基本軸として、今後進める公共施設の統廃合も考慮しながらまちづくりを進めてはどうか。

「ネットワークづくり」がまちづくりであると考え。コミュニティバスは、富山や高岡などとも連携すればよいと思う。公共交通の問題は全県的にも重要なことである。

射水市は市街地が分散している。それらをどう連携させ、どう伸ばしていくのか、基本計画に限定せず、実施計画においても、この先10年間でこのような形にするといったものがあるとよいと思う。

射水市は、小さいエリアながら色々と揃っている。高低差も少なく、港もあれば、工業地、商業地、大学まである。まちとして必要なものは大方揃っている良いまちである。

市民病院において過去に終末医療の問題があった。人は必ず死ぬので、できる限りソフトに死んでいくにはどうしたらよいかなど、そういった問題があった地域だからこそ特徴を出せないか。